

平成27年度 発達支援相談室活動報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(1) 発達相談

平成27年4月1日以降の新規受付件数は22件であり、平成27年3月31日以前からの引き継ぎケースと合わせると、本年度の総登録件数は74件であった。

表1 登録件数

受付別	件数
新規受付ケース(平成27年4月以降新規受付)	22
引き継ぎケース(平成27年3月以前に受付)	52
合計	74

年齢別にみると、乳幼児が21人、児童34人、生徒(中学生)9人、生徒(高校生)7人、高校生以上が1人、成人が2人であり、学齢期を中心に幅広い年齢層の発達に関わる相談を受けていることがわかる。

表2 年齢区分別

年齢区分	人数
乳幼児(就学前)	21
児童(小学生)	34
生徒(中学生)	9
生徒(高校生)	7
高校生以上(未成年)	1
成人	2
合計	74

相談内容別の件数は表3の通りであり、「発達障害」に関するものが71件と最も多く、全体のおよそ90%を占めている。

表3 相談内容別

主訴(相談内容)	件数
発達障害	71
知的障害	3
教員コンサルテーション	3
合計	77

面接形態別相談件数は親単独面接が11件、親子並行面接(時間別並行面接を含む)が63件、心理検査が2件、教員コンサルテーションが3件であった。インテーク(受理面接)のみで終了し、年度内に登録に

至っていないケースは12件であった。

表4 面接形態別

面接形態	件数
親単独面接	11
親子並行面接(別時間並行面接を含む)	63
心理検査	2
インテークのみ	12
教員コンサルテーション	3
合計	91

月別の面接およびプレイセラピー件数は表5の通りである。6月の件数が最も多く、総回数は1382回であった。相談室の休室期間が含まれる4月、8月、1月、3月は相談件数がやや少ないが、一か月あたりおよそ100件超の面接およびプレイセラピーを実施している。

表5 月別面接回数(本年度)

月毎	回数
平成27年4月	63
平成27年5月	122
平成27年6月	159
平成27年7月	156
平成27年8月	38
平成27年9月	115
平成27年10月	134
平成27年11月	151
平成27年12月	123
平成28年1月	92
平成28年2月	155
平成28年3月	74
総面接回数	1382

転帰は継続が59件、終結が15件であった。

表6 転帰

区分	件数
継続	59
終結	15
合計	74

(2) グループプレイセラピーの発達相談

発達障害のある児童を対象にグループプレイセラピーを実施した。実施月と回数および参加児童数を表7にまとめる。1回当たりの平均参加児童数は7名であり、6～8名の範囲で変動した。今年度の実施期間は平成27年5月～平成28年2月までであり、8月、9月、1月は休みであった。グループプレイセラピーの実施に際し、グループ運営を飯塚一裕センター担当教員が、保護者支援を吉岡恒生センター担当教員、松橋俊太補佐員（セラピスト）がそれぞれ担当した。また、協力スタッフとして学生相談スタッフ（特別支援学校教員養成課程および特別支援教育特別専攻科所属学生）15名がプレイセラピーを担当した。

表7 グループプレイセラピー実施回数

実施月	実施回数	参加児童数
平成27年4月	0	0
平成27年5月	1	8
平成27年6月	2	16
平成27年7月	2	15
平成27年8月	0	0
平成27年9月	0	0
平成27年10月	1	6
平成27年11月	3	22
平成27年12月	1	7
平成28年1月	0	0
平成28年2月	2	16
平成28年3月	0	0